

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2018 年版」正誤・修正一覧情報

(平成 30 年 10 月 11 日現在)

掲載頁	誤	正
8	ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質の禁止医薬品例 2. ペプチドホルモンおよびホルモン調節物質② 2.1 男性における絨毛性ゴナドトロピン (CG) および黄体形成ホルモン (LH) およびそれらの放出因子 絨毛性ゴナドトロピン (CG) 黄体形成ホルモン (LH) <b>プロゲステロン (各社)</b> それらの放出	ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質の禁止医薬品例 2. ペプチドホルモンおよびホルモン調節物質② 2.1 男性における絨毛性ゴナドトロピン (CG) および黄体形成ホルモン (LH) およびそれらの放出因子 絨毛性ゴナドトロピン (CG) 黄体形成ホルモン (LH) <b>および</b> それらの放出
18	糖質コルチコイドの禁止医薬品例 B ベタメタゾン      リンデロン (塩野義) 他 ブテソニド <b>オーキシス (アストラゼネカ)</b>	糖質コルチコイドの禁止医薬品例 B ベタメタゾン      リンデロン (塩野義) 他 ブテソニド <b>ゼンタコート (ゼリア新薬工業)</b>
42	<b>6.使用可能薬リスト 2018 年版 / 医療用医薬品:ETHICAL DRUGS</b> <b>はじめに</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法(禁止表で規定される方法や添付文書記載の用法・用量)を守れば許可される国内の医療用医薬品の例をあげました。</li> <li>● 禁止物質には「常に禁止される物質(競技会(時)及び競技会外)」と「競技会(時)に禁止される物質」があります。</li> <li>● 使用可能薬リストの医薬品は、主要な製品を記載してあります。記載以外にも同等な医薬品がある場合もあります。メーカー名は(製造販売-発売・販売)です。</li> <li>● ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品と同一の有効成</li> </ul>	<b>6.使用可能薬リスト 2018 年版 / 医療用医薬品:ETHICAL DRUGS</b> <b>はじめに</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法(禁止表で規定される方法や添付文書記載の用法・用量)を守れば許可される国内の医療用医薬品の例をあげました。</li> <li>● <b><u>有効成分以外の成分(添加剤)に禁止物質が含まれていないかについては、原則確認していません。</u></b>これは、第 17 改定日本薬局方の製剤総則において、「添加剤は、製剤に含まれる有効成分以外の物質で、有効成分及び製剤の有用性を高める、製剤化を容易にする、品質の安定化を図る、又は使用性を向上させるなどの目的で用いられる。製剤には、必要に応じて、適切な添加剤を加える</li> </ul>

<p>分を含有し、基本的には変わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 生薬や植物由来成分等は、その全ての詳細な内容成分を把握することが困難なため、これらを含有する製品は、基本的に使用可能薬には掲載していません。</li><li>● <u>ここにあげた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。</u></li></ul>	<p>ことができる。ただし、用いる添加剤はその製剤の投与量において薬理作用を示さず、無害でなければならない。また、添加剤は有効成分の治療効果を妨げるものであってはならない。」とされていることによります。ただし、本会での有効成分の確認時において、当該医薬品が内服薬、かつ、添加剤に植物由来成分等が含まれていることが判明した場合にあっては、出来るだけ本リストから削除する方針で作業を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 禁止物質には「常に禁止される物質（競技会（時）及び競技会外）」と「競技会（時）に禁止される物質」があります。</li><li>● 使用可能薬リストの医薬品は、主要な製品を記載してあります。記載以外にも同等な医薬品がある場合もあります。メーカー名は（製造販売-発売・販売）です。</li><li>● ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先発医薬品と同一の有効成分を含有し、基本的には変わりません。</li><li>● 生薬や植物由来成分等は、その全ての詳細な内容成分を把握することが困難なため、これらを含有する製品は、基本的に使用可能薬には掲載していません。</li><li>● <u>ここにあげた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。</u></li></ul>
--	---